

2018年6月4日

医学系研究の実施に関するお知らせ

研究課題名：MMPs 解析における象牙質・歯髄複合体組織破壊抑制と新規接着システムの開発

研究責任者：歯学部・歯科保存学講座・助教・竹内 摂/大阪歯科大学附属病院保存修復科・竹内 摂

1. 研究の対象

2018年6月4日から2020年3月31日の間に、本学附属病院口腔外科に来院し、抜歯治療を受けた満16歳以上の患者様

2. 研究目的

脱灰象牙質・歯髄由来の MMPs がう蝕の進行および接着修復に及ぼす影響を明らかにするものです。MMPs 阻害剤による象牙質破壊の制御、接着修復の改良を目的にしています。

3. 研究方法

本学口腔外科にて矯正治療のため抜去した健全歯を分割し、歯髄組織を10%ウシ胎児血清、100 U/ml ペニシリン、100 mg/ml ストレプトマイシンを添加した Dulbecco's modified eagle medium により、37℃、5%CO₂ 湿潤条件下で24時間培養します。歯髄組織片から out growth した細胞を、0.25% Trypsin-EDTA 溶液を用いてディッシュから剥離し、継代培養します。24-well plate に歯髄細胞を播種します。24時間培養後、PBS (-) で洗浄します。刺激を加え上清を回収し、sample buffer (0.0625 M tris-HCl (pH 6.8)、2%SDS、5%glycerol、5%2-ME) を加え、99℃で3分間ポイルし電気泳動用試料とします。等量の試料を8%SDS-PAGE に供し、PVDF メンブレンに転写します。PVDF メンブレンに種々の MMPs 抗体を反応させ、MMPs の産生を検出します。

4. 研究期間

学長による研究実施の許可日から2020年3月31日。あなたに直接本研究に参加していただくのは、治療のために抜去歯をご提供いただくときのみです。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：抜去歯

情報：用いることはありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方に

様式 03-6_医学系研究の実施に関するお知らせ 170530

ご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担 当 者：大阪歯科大学附属病院・保存修復科・竹内 摂

住 所：〒540-0008 大阪府中央区大手前1丁目5番17号 大阪歯科大学附属病院 6階

電 話：06-6910-1087